

②来客に対して、良い意味の興味を持たせるようにしましょう
(吠えなくなったら)。

- 来客はイヌを無視したまま①の「警戒心を減らす方法」をとり続ける。
- イヌが来客のにおいを嗅いだり、そばに寄ってきても無視する。
- 飼い主がイヌに好物を与えたり、イヌの近くに投げたりする。
- もしイヌが吠え始めたら①の「警戒心を減らす方法」にもどりましょう。

③イヌの自信を育てましょう。

- イヌが得意とするタイプ(女性や大人)の来客を選んで練習してください。
- 来客のたびに練習を繰り返しましょう。
- ①～③を繰り返し、吠えることが減ったら、来客が好物を与えてみてください。



●ネコがいる家庭で新たにネコを迎える

原因

ネコは縄張り意識が強くイヌよりも社会性が低いため、新しいコを迎え入れることは大きなストレスになる場合があります。

対策

来客等新しいものに対して過敏に反応する場合、新しいコを迎え入れないほうが良いでしょう。そうでない場合は、次のように段階をふみ、ゆっくりとお互いを慣れさせるようにしてください。

①導入

- 先住ネコにしばらく会わせないようにしましょう。健康面からも、1週間は隔離しておいた方が良いでしょう。
- 先住ネコが良く使う場所には入れないようにしましょう。

②出会い

- 子猫をケージに入れておきます。
- 先住ネコが子ネコに興味を示し、近づいたらごほうびを与えましょう。
- 先住ネコがうなったり、毛を逆立てたりしたら、すぐに両者を離し、別の機会にチャレンジしましょう。

③訪問

- 子ネコを先住ネコの縄張り内に放して、対面させてみましょう。
- この時毎回飼い主が立会い、時間も設定して行うようにしてください。
- 問題が無ければ、子ネコの行動範囲を広げていきましょう。



他にも「食糞」や「咬む」など、いろいろありますね。ペットちゃんたちには自然な行動でも、私たちと暮らしていく中で、それらは「問題行動」となってしまいます。「問題行動」を減らすためには、幼少期に人間社会のルールを教えることがとても大切なのです。

どうしても困ったときは、しつけのプロのトレーナーさんに相談しましょう!

ワンちゃん、ネコちゃんの問題行動



食べ物おいしい季節になりました!
私たちがペットちゃんたちも、食べすぎには気をつけましょう。
今回の特集はペットちゃんたちの「問題行動」についてです。

●拾い食い

原因

イヌ科の動物はもともと死骸や果物の実、昆虫など地面に落ちているものを拾い食いの習性があります。

対策

「おいで」といえばいつでも飼い主のそばに来るようにしつけておきましょう。そしてそのときにごほうびを与えましょう。

してはいけないこと

口にくわえてしまったものを無理やり取り上げてはいけません。その結果飼い主を齧ったり、噛み付いてきたりするようになってしまうかもしれません。



●来客に吠える

原因

来客慣れしていないことです。

対策

①次のようにして、イヌの警戒心を減らしましょう。

- 目を合わせない。
- 吠えられるほど近づかない。
- 体をなるべく小さくする。
- 急な動きをしない。

